



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1013 2016年2月15日

ARIBの動き

APT 無線グループ第19回会合（AWG-19）の概要

1. 日程： 2016年2月2日～5日
2. 場所： Empress Hotel Chiang Mai（タイ チェンマイ）
3. 参加者：
アジア・太平洋地域内の21か国・地域及び世界各国の民間組織・国際機関等から170名超が参加しました。日本代表団として、総務省 岩間国際周波数政策室補佐を団長に41名が参加しました。
電波産業会からは、佐藤参与、小川次長、他3名が参加しました。なお、当会の佐藤参与が本会合の全体議長を務めています。
4. 会合の目的：
アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システムに関する周波数の調和や標準化等について合意形成を図ることです。
5. 主要概要：
 - (1) IMT（第5世代移動通信システム等）
5Gシステムに向け24.25-86GHz帯の検討がWRC-19議題として承認されたことを受け、当該帯域の各国の利用状況調査、共用検討の作業計画を作成しました。また、6GHz以下でIMTに特定された帯域に関する共用検討、周波数アレンジメントの作業計画を作成しました。
 - (2) テラヘルツ波（275GHz以上）を用いた短距離無線通信技術
275-450 GHz帯について陸上移動業務と固定業務への特定についての検討がWRC-19議題として承認されたことを受け、我が国からの提案に基づき、テラヘルツ技術の進展や短距離無線通信アプリケーションに適した周波数帯について作業文書の更新を実施しました。
 - (3) 高度道路交通システム（ITS）
ITS周波数のハーモナイズに向けた検討がWRC-19議題として承認されたことを受け、我が国からの提案に基づき、合意形成の促進のための情報展開、作業文書の更新を実施しました。
 - (4) 鉄道無線システム
鉄道無線システムに関する検討がWRC-19議題として承認されたことを受け、APTレポートの作成に向け今後の作業計画の議論を行いました。次回AWG会合から鉄道無線のTGを新設することとし、その所掌事項が承認されました。また、会期間にコレスポネンスグループで情報交換を行うことになりました。
6. 次回会合のスケジュール：
次回AWG-20会合は、2016年9月に開催されることがアナウンスされました。



AWG 議長として開催挨拶をする佐藤参与



AWG-19 会合の様子

第 5 世代移動通信システム(5G)に関する日欧シンポジウムの開催概要

2月8日(月)、10日(水)にヨーロッパハウス 在日欧州連合(EU)代表部(東京、広尾)において「第5世代移動通信システム(5G)に関する日欧シンポジウム」が、総務省及び欧州の官民パートナーシップ(5G PPP)と日本の第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF)の協力の元、在日EU代表部と在日フランス大使館科学技術部の共催により開催されました。シンポジウムには、欧州と日本の大学・研究所、産業界、管轄省庁から関係者が一堂に会し、5Gに関する応用例、ロードマップ、無線アクセスとネットワークの最先端テクノロジー、周波数割当、標準化、実証試験等の最新情報、また欧州と日本の進行中の最先端のプロジェクトが紹介されました。シンポジウムの技術アドバイザーを5GMF 佐藤孝平事務局長(ARIB 参与)が務めました。

本イベントは、2015年10月Manuel Carlos Valls、安倍晋三、日仏両首相が参加し開幕した「日仏イノベーション年」の一環として開催されました。同イベントは、5Gのようなイノベーション面で高い影響力のある分野での官民パートナーシップの推進を目的としています。

シンポジウムにおいては、はじめに在日EU代表部Jonathan HATWELL公使及び在日フランス大使館Paul-Bertrand BARETS公使から、歓迎のご挨拶がありました。続いて総務省中沢淳一移動通信課長及び欧州委員会通信ネットワーク・コンテンツ・技術総局Bernard BARANIネットワーク技術部副部長から、キーノートスピーチが行われました。



在日EU代表部
公使
Jonathan
HATWELL 氏



在日フランス
大使館 公使
Paul-Bertrand
BARETS 氏



総務省電波部
移動通信課長
中沢淳一氏



欧州委員会 通信ネッ
トワーク・コンテ
ンツ・技術総局 ネットワ
ーク技術部副部長
Bernard BARANI 氏

セッションは、5G ビジョン、5G を実現する無線・ネットワーク技術、日欧共同プロジェクト、標準化活動の5つのテーマ別に開催され、合計 24 件の講演があり活発な質疑応答がなされました。5GMF からは、中尾彰宏ネットワーク委員長及び佐藤事務局長がセッションの座長を務め、吉田会長をはじめ 7 名の方が講演を行いました。

最後に、欧州委員会の Bernard BARANI 氏及び総務省 中村裕治新世代移動通信推進室長がモデレータを務め、日欧の主要な参加者 7 名による 5G の実用化に向けてのパネルディスカッションが行われました。

シンポジウムの締めくくりにあたり、欧州の 5G インフラストラクチャー協会 Werner MOHR 役員会議長及び 5GMF 佐藤事務局長から、今回の意見交換の集約と今後の連携等に関する総括が行われ、満場一致で合意されました。

2 日間にわたったシンポジウムには、日欧合わせておよそ 150 人が参加しました。



第 5 世代移動通信システム(5G)に関する日欧シンポジウムの様子

第 137 電波利用懇話会を開催
**「IoT/ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方に関する
動向と今後の展望について」**

2 月 9 日に、第 137 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省情報流通行政局情報流通振興課 北林課長補佐をお迎えして、IoT/ビッグデータ時代を見据えた我が国の情報通信政策の在り方について、情報通信審議会からの中間答申において提言された「IoT/ビッグデータ時代」に向けた課題や重点施策、その推進方策等についてご講演を頂きました。

全体をとおり、数多くの会員の皆様に受講いただき、法整備の検討状況や IoT テストベッドの公開方法等多くの質疑応答が行われました。

なお、当会の会員 Web サイト (<http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html>) において、講演のプレゼンテーション資料を公開予定です。



第 137 回電波利用懇話会の様子と講師の北林課長補佐

第 225 回業務委員会を開催

第 225 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時：平成 28 年 2 月 10 日（水）午後 3 時 30 分から午後 5 時まで
- 2 場所：当会第 2 議室
- 3 議事概要：
 - (1) 第 15 回理事会等の開催について
 - (2) 日ペルー地デジ ICT 国際セミナーについて
 - (3) APT 研修の結果について
 - (4) その他

今週の ARIB 内会合（2 月 15 日～2 月 19 日）

- 2 月 15 日（月）高度無線通信研究委員会 モバイルコマース部会技術専門委員会(第 56 回)
2 月 16 日（火）スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班
2 月 17 日（水）デジタル放送システム開発部会

今週の国際会合（2 月 15 日～2 月 19 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

平成 28 年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する 評価技術研究の基本計画書（案）に関する意見募集【平成 28 年 2 月 5 日発表】

総務省は、平成 28 年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究の提案の公募に先立ち、本研究を実施する上での基本計画書（案）を取りまとめました。この基本計画書（案）について、平成 28 年 2 月 6 日（土）から同年 3 月 7 日（月）までの間、意見の募集が行われています。

詳細については【[平成 28 年 2 月 5 日の総務省報道資料](#)】をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11 階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp